

(参考様式14)

事業所名		にじの木				支援プログラム（参考様式）		作成日	令和8 年	6 月	20 日
法人（事業所）理念		個性を見つける・個性を伸ばす・個性を磨く 子ども一人ひとりの違いを大切にし、それぞれが持つ可能性を見つけ、伸ばし、自信につなげていくことを目指します。にじの木は、子どもと子育てを支える地域の拠点として、一人ひとりの発達や特性に寄り添いながら、安心して成長できる環境を提供します。									
支援方針		にじの木では、基本理念を踏まえ、応用行動分析（ABA）の考え方を取り入れながら支援を行います。子どもの「できた」「わかった」「楽しい」という成功体験を大切にし、自信や意欲につなげます。また、言語聴覚士（ST）、保育士、児童発達支援管理責任者等の多職種が連携し、中道山こども園との連携も活かしながら、一貫した支援を提供します。									
営業時間			9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし			
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣の定着を図り、安心して生活できる力を育てます。身辺自立や生活リズムの形成を支援し、自分でできることを少しずつ増やしていきます。									
	運動・感覚	遊びや活動を通して身体を動かす楽しさを感じながら、姿勢・バランス・手指操作などの基礎的な運動機能を育てます。また、一人ひとりの感覚特性に配慮した環境づくりを行います。									
	認知・行動	子どもの興味や関心を出発点として、考える力や理解する力を育てます。応用行動分析（ABA）の視点を活用し、望ましい行動を増やししながら、自信を持って活動に参加できるよう支援します。									
	言語 コミュニケーション	言葉が出にくい」「お友達とのやりとりが難しい」など、子供たちの困りごととは一人ひとり異なります。その背景には、言葉の発達だけではなく、興味の偏りや緊張のしやすさ、環境との相性などが関係していることもあります。それらを丁寧に見つめ、「どうしたらその子らしく力を発揮できるか」を一緒に考えていきます。それぞれの個性やペースを大切にしながら「できた!」や「楽しい!」という経験を増やしていけるように支援をしていきます。									
	人間関係 社会性	友達や大人との関わりを通して、相手を理解する力や協力する力を育てます。集団活動や遊びの中で、安心して人と関わる経験を積み重ねながら社会性を育みます。									
家族支援		保護者との対話を大切にし、子どもの成長や課題を共有しながら共に支援を進めます。子育ての不安や悩みに寄り添い、家庭と事業所が協力して子どもの成長を支えます。					移行支援	就園・就学・進級等の節目において、関係機関と情報共有を行い、子どもが安心して次の環境へ移行できるよう支援します。			
地域支援・地域連携		中道山こども園をはじめ、関係機関や地域資源との連携を図りながら、子どもが地域の中で安心して生活できる環境づくりを進めます。					職員の質の向上	にじの木では、職員研修を計画的に実施するとともに、外部スーパーバイザー（SV）による専門的助言を受けながら支援の質の向上に努めています。支援計画の作成やモニタリング、ケース検討を定期的に行い、応用行動分析（ABA）の視点も活用しながら、一人ひとりの子どもに適した支援を追求しています。また、言語聴覚士（ST）をはじめとする専門職との連携を通して、職員全体の専門性向上を図っています。			
主な行事等		季節に応じた活動や制作活動、感覚遊び等を実施しながら、子どもたちが楽しみながら経験を広げられる機会を設けています。また、誕生会や避難訓練、保護者面談等を定期的に実施します。さらに、中道山こども園との連携を活かし、交流活動や行事への参加・見学などを通して、地域や集団とのつながりを育みます。就園・就学に向けた体験活動や保護者向け相談・情報提供もを行い、子どもと家庭を継続的に支援します。									